

山本 (八西出) **男子 8位** **大岩** (八学大) **女子 9位**

1500級 男子1万竹中(八商出) 9位

全日本選抜スピード八戸大会

スピードスケートの全YSアリーナ八戸で行われた日本選抜競技会八戸大会、女子1500級は世界最終日は22日、八戸市の界記録保持者の高木美帆

男子1万級は土屋良輔（メモリード）が13分16秒10の国内最高記録で勝った。同1500級は山田将矢が1分46秒65で1位、土屋陸（ともに日本電産サンキョー）が2位となった。

県勢は男子1500級で山本大史（八戸西出、明大）が8位。同1万級は竹中誠也（八戸商出、東洋大）が9位だった。女子1500級は大岩未奈美（八戸学院大）が9位に入った。（工藤慎子）

※1位3位までと県勢



【女子1500級】自己ベストを更新し9位となった大岩未奈美（八戸学院大）

ベスト更新 自信に

○：女子1500級で大岩未奈美（八戸学院大）が自己ベストを2秒以上縮め、2分4秒46で9位に入る健闘を見せた。他種目を含め、自己ベスト更新は約2年ぶり。大岩

は「やっとタイムを出せてうれし。次につながる滑りになった」と自信が持った様子だった。課題とする中盤の700～1100級の区間で、ラップタイムを3秒以上落とさないことを目標にして臨んだ。「気持ちで負けない」とレース中も自分を奮い立たせ、タイムの落ち込みを2秒に抑えた。このレースで12月末の全日本選手権への出場権も獲得。「1秒でもタイムを縮め、トップの選手と戦っていきたい」と力強く語った。